



社会福祉法人のそみの会
大塚保育園
大塚子どもふれあい館
園長 石坂 芳
令和3年10月3日発行 No.465

「暑さ寒さも彼岸まで」と言うことわざがありますが、秋分の日を過ぎると朝夕の気温が下がり秋を感じる季節になりました。今年も老木桜の木の下に金木犀の花の甘い匂いがしていました。草木からも秋を感じられます。

さて、今年の「秋わくわく2022」は、10月8日(土)を予定しています。0歳から5歳まで年齢に応じた競技、選択制など、大塚保育園ならではの種目もあります。二度と来ない2022年秋を、お子さんと保護者の皆さんの記憶に残るような一日が過ごせますように計画しました。

まだ、収束の見えないコロナ過ではありますが、感染予防をしながら保護者の皆さんと職員が協力して、安全で楽しい時間を過ごせるようご協力をお願いします。

園長



- 5日(水) 秋わくわく2022リハーサル
- 8日(土) 秋わくわく2022
〔予備日について補足参照〕
つき組移行についての説明会〔午後〕
(対面orZOOM形式)
- 11日(火) うたのじかん
- 12日(水) 乳児健診
全園児健康診断(本園)
- 13日(木) リトミック(そら・ひかり)
- 17日(月) おいもほり
〔雨天の場合19日・24日〕
- 18日(火) うたのじかん
- 19日(水) 体操のじかん(にじ)
- 20日(木) リトミック(ひかり・にじ)
- 21日(金) 秋の遠足(うさぎ・つき・幼児)
- 25日(火) 遠足予備日〔給食有り〕
- 26日(水) 体操のじかん(そら)
- 27日(木) リトミック(にじ・そら)
- 28日(金) 誕生会



《幼児クラスの保護者の方へ》

秋わくわく2022のリハーサルが5日(水)に行われる予定ですが雨の状況によりリハーサルの日がズレる可能性があります。

リハーサルの日には〈年長さんのみ〉本番同様の衣装での参加になります。

4日(火)迄に体操着袋に藍染めTシャツと体操ズボンを入れてお持ち下さい。

宜しくお願い致します。

《全園児健康診断(本園)》

全園児対象です。

できるだけ欠席のないようお願い致します!

【分園は11月に行います】

※ひよこ・いす・ゆめぐみ・ほしくみ※

“個人面談”

10/18(火)~10/26(水)

※クラス毎最終日が異なります。

※うさぎ・つきぐみ “保育参観”

11/1~予定

※詳細は別途お知らせ致します。

《秋わくわく2022についての再確認事項》

- 観覧入場は全クラス1家庭につき保護者(大人)2名迄となります。乳児クラスの保護者の方も同じです。
- 在園児で兄弟がいる場合の対応で、わからないことがあればお声を掛けて下さい。
- 8日雨天の場合…9日(日) 全クラス種目開催
9日雨天の場合…11日(火) 10:30~幼児クラス種目のみ縮小して開催
幼児クラス保護者のみ参観可能
- 園の駐車場及び由木東市民センター第1駐車場は使用できません。駐車場ご使用の方は、台数に限りがありますが、市民センター第2駐車場をご使用ください。近隣道路での乗降りをされる場合には安全に十分お気をつけください。

《お芋ほり》

幼児クラスで10/17(月)にお芋ほりに行きます。今年もご近所の方のご協力により畑をお借りすることができさつまいもを収穫できることになりました。

雨天の場合は19日(水)・24日(月)と順延していきます。

当日は下記の準備をお願い致します。

- 《持ち物》★リュックサック
★水筒
★スーパーのビニール袋(名前を書いて下さい)
★子供用軍手
- 《服装》◎長袖
◎長ズボン
◎長靴

《モンテッソーリの「感覚教育」って!》

モンテッソーリ教育には『日常生活の練習』『感覚教育』『言語教育』『数教育』『文化』の5分野あり、その中から『感覚教育』についてご紹介したいと思います。

0~3歳までのお子さんは大人の真似をしながら無意識的に外界の様々な出来事を吸収しています。3歳頃から、それまで無意識的に吸収してきたものを、意識的に整理しようとする。この時期にもっとよく知りたいという欲求が芽生え、「どうして?」という問いかけがまさにその時期の表れです。

ため込んだ印象を整理づけ秩序だてするのに感覚教具が大きな役割を果たします。2歳頃のお子さんを見てみると「あのコップ私と同じ」と絵柄に気づいたり、何かを大きさ順に並べたり形別に分けたりする事に気づけるようになりこれが知性の芽生えの表れです。

感覚教具は秩序と明確さを持っていて分類し、識別し、整理付ける援助を行うものです。

身体器官の成熟と精神的な発達、五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を使って研ぎ澄まされていきます。感覚器官は乳幼児期に最も発達します。この時期にその働きを敏感にし、自分を取り巻く環境を正確に知ること、お子さん達は環境に適応した行動ができるようになります。ものを感じ取る力を育てるために、豊かな感覚体験が、観察力や識別力を養います。

感覚教具「ピンクタワー」は感覚の敏感期にあるお子さんにぴったりの教具です。

ピンクの立方体を積み重ねてタワーを作るものですが、違うのは大きさだけです。

1cmの立方体から1cmずつの差異がある10cmの立方体まで10個あります。

自分で比較をして、大きい立方体から順に積めるようになります。

経験を沢山積む事で、将来も秩序だてて物事を考えられるようになります。一つを特に際立たせ、ひとつの感覚に集中できるようになっています。

感覚教育では、言語の提供も行われることも大きい役割りとなってます。この教具では「大きい」「小さい」という言語も獲得します。「対照性」の教具や「長い」「短い」などの「漸次性」の教具や「同じ」などの「同一性」の教具があります。

2歳半~5歳のお子さんは感覚の敏感期ならではの鋭敏な感覚で物事を感じとり、その印象を言語化することで、混沌とした世界を整理して把握していきます。

「大きさ」「長さ」「重さ」などは抽象的なものですが、感覚と言語を結びつければ、お子さんは抽象概念を理解できるようになります。感覚を言葉で表現することは抽象思考への第一歩なのです。ご家庭でも、五感を幅広く使うこと、感じたことを言葉で表現するよう促すことを、普段の生活の中で意識していくと良いですね。



うさぎ組・つき組さんがおつきみだんごを作ってくれました!



《秋わくわく2022~練習風景(≧▽≦)》



7つの種目を遊びの中で体験し、どれが楽しかったかな?と、みんなで投票をしました!

上位3種目の中から、自分が参加したい種目を選びました。さあ、みんなの種目に出ることになったかな?



【ご意見箱投書がありました】

先日、ご意見箱の中に「真冬になる前に手洗い場がぬるま湯が出るようになると嬉しいです。」と、保護者の方からご意見をいただきました。

園としましては、環境設備の都合上、致し方ない事で、申し訳ありません。貴重なご意見有難うございました。

【10/14(金)位から、冬芝の養生が始まります】

1ヵ月ぐらい掛かります。

その間は芝の所では遊べなくなりますのでお散歩などをしながら過ごしていきます。

第三者評価利用者アンケートの協力ありがとうございました。

12月に訪問調査が入り後日総評がネットで見られる予定です